

令和4年度 第3回 舞阪中学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年11月14日（月） 13時00分から15時00分まで
- 2 開催場所 舞阪中学校 1階 会議室
- 3 出席委員 渡邊 東一、鈴木 孝一、江間 雅尾、河合 數馬、小内 正枝、片桐 美恵子、  
本多 有美、佐々木 雄一
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 河合 一徳（舞阪協働センター副所長）
- 6 学 校 中村 真由美（校長）、川合 公孝（教頭）、宮崎 友貴（CSディレクター）
- 7 教育委員会 なし
- 8 傍聴者 なし
- 9 協議事項
  - （1）授業参観について
    - ① 子供たちの様子
    - ② 評価項目（学力）
  - （2）学校評価の評価項目（全体）について
  - （3）来年度の教育活動について
- 10 会議録作成者 CSディレクター 宮崎 友貴
- 11 会議記録

司会の川合公孝教頭から、委員総数8人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。議長は前回承認された片桐美恵子委員が務めた。

（1）授業参観について

① 子供たちの様子

議長の指示により、中村真由美校長から、別紙資料に基づき、今年度の学校評価アンケートの学力に関する評価項目案について説明があった。これを踏まえて委員による授業参観を実施。参観後、子供たちの様子について、委員から以下の発言があった。

- ・生徒によって得手不得手があると思うが、子供同士の考え方の違いを尊重し、答えを導く過程を子供同士の話し合いでできれば素敵だと思う。（鈴木委員）
- ・教室の空席が目立ち、欠席が多いのかと心配になった。（河合委員）
- ・今年度7ヶ月が経ち、生徒と先生の雰囲気が良いと感じ取れた。授業の仕掛けよりも人間同士の信頼関係がベースの8割だと思う。（渡邊委員）
- ・集団から外れる子が数人いた。しっかり目を配ってほしい。（渡邊委員）
- ・今の時代はPowerPointを使い、目から情報が入るのがいいなと思った。（江間委員）
- ・舞阪の特徴として、どのクラスも生徒と先生の仲が良いと感じた。特に1年生は授業をよく聞いていて驚いた。（小内委員）

- ・中学生の体が大きいのに机が狭くて不便そうだった。（本多委員）
- ・昔は先生が一方的に教科書を読むだけだったが、今は参加型の授業なのだと感じた。（佐々木委員）

## ② 評価項目（学力）

議長より、学力に関する評価項目について意見を募ったところ、委員から以下の質問があり、中村真由美校長から詳しい説明があった。

### 「計画を立てて勉強している」項目

- ・「計画」の具体性はどのようなものか。直近のことかそれとも将来を見据えてのことか。（鈴木委員）
- ・「計画」の対象は現在のことであり、テストなどを想定している。（中村校長）
- ・職員の項目は「生徒に計画させている」ということか。（小内委員）
- ・生徒はやっていると思っていても職員から見てどうなのか意識の違いを知りたい。（中村校長）

### 「授業で教え合ったり、良さを認め合ったりしている」項目

- ・教え合うことは、できる子に集中するのではないか。できない子は関わることで自分も努力しようと思うのか、それともできる子に頼ってしまうのか。（鈴木委員）
- ・例えば、複数の生徒に別々の情報を持たせてそれらを合わせないと1つの答えが出ないこともあるし、いろいろな答えがあることもある。授業によって様々なパターンがある。（中村校長）

## （2）学校評価の評価項目（全体）について

議長から、学校評価アンケートの評価項目全体について各委員に気づいたことを挙げるよう提案があり、委員からは、以下の発言があった。

### 「よいところがある」項目

- ・子供はなかなか自己肯定感を出せないのではないかと。（鈴木委員）
- ・13才・14才（1・2年生）は思春期で自分を肯定する気持ちは下がっていく時期ではあるが、そこをあえて知りたいと思う（3年生は少し上がる傾向である）。（中村校長）
- ・なぜそんなに自己を否定するのか、もっと自信を持てばいいのにと。（片桐委員）
- ・自己肯定感は中学入学前からの積み重ねもあり個人差がある。先生にほめることをお願いしたい。（江間委員）

「行事に意欲的に取り組み、仲間とともに活動する楽しさやうれしさを感じた」項目について、本多委員より、1つの項目の中に2つの質問が入っていると発言があった。これについて議長から、どちらの内容を重点とするか熟議するよう指示があった。

- ・2つの項目に分けてもよいと思う。（鈴木委員）
- ・どちらかと言われたら後半の方がいじめ問題に直結する質問だと思う。（片桐委員）
- ・学校がどのような人間像をイメージしているかによるが、2つの内容が1つの項目でもよいと思う。（渡邊・小内委員）

議長より、今回の熟議の内容を参考に、有意義な学校評価アンケートになることを願っているとの発言があった。議長の発言を受けて、中村真由美校長から、アンケート結果を分析して来年度に生かしたいとの発言があった。

### (3) 来年度の教育活動について

中村真由美校長から、別紙資料に基づき、来年度の教育活動について説明があった。特にキャリア講座について、生徒の心に残り、より身近に感じることができることから、講師をお願いできそうな舞阪出身または舞阪にゆかりのある方がいたら紹介してほしいと委員に提案した。

### その他報告事項等

川合公孝教頭から、第4回の会議は令和5年2月24日（金）午後1時20分から1階会議室で開催する旨の報告があった。

なお、協議内容については、「学校評価の学校関係者評価」「令和5年度学校経営方針」「学校運営協議会の自己評価」の3つであることが示された。

第4回議長の選出について、議長から本多委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。